

日本財団 「新型コロナウイルス感染症と複合災害に備えた救急医療施設への緊急支援プログラム」にて下記物品を整備しました。

①N95 定量フィットテスター ポータカウントプロ・プラス IP Ultra 1台

新型コロナウイルス入院患者の診療・ケアを行う医療従事者に対して N95 マスクの適正使用の確認指導が出来るようになりました。



②紫外線照射ロボット 1台

新型コロナウイルス入院患者の療養環境のウイルス汚染で清拭消毒の対応がしづらい部位の除染が可能となりました。



③超音波診断装置 1台

救急外来において超音波診断装置を使用して超音波検査が出来る様になった為、標準治療が行える様になりました。
また、CT 検査などの侵襲的検査や、移動のリスクを減らすことが出来ました。

